

🌀 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）について

○海ネット設置目的

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」（海ネット）は、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的とし、平成3年5月に設立された。

○海ネットの活動指針

- ・ 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震津波に対応した防災ネットワークの整備
- ・ 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信
- ・ 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海の環境創造

歴代会長

平成 3年～ 6年	： 姫路市長	（戸谷 松司）
平成 7年～10年	： 坂出市長	（松浦 稔明）
平成11年～14年	： 小松島市長	（西川 政善）
平成15年～18年	： 玉野市長	（山根 敬則→黒田 晋）
平成19年～20年	： 下関市長	（江島 潔→中尾 友昭）
平成21年～26年	： 大竹市長	（入山 欣郎）
平成27年～30年	： 和歌山市市長	（尾花 正啓）
令和 元年～	： 佐伯市長	（田中 利明）※敬称略

海ネット会員

